

奈良経済産業協会

NARA ECONOMIC AND INDUSTRIAL ASSOCIATION

NEWS

令和6年7月 第71号



巻頭言 『県内産業の技術的課題解決への3つの“シン”』



奈良県産業振興総合センター
所長 福田純一氏

4月に県産業振興総合センターに赴任いたしました。

どうぞよろしくお願いいたします。

今年度から当センターは、産業技術の研究開発および技術支援、計量法に関する組織といたしました。

具体的には、社会全体が直面している課題解決を目指すための、4研究科（「環境技術支援科」「デジタル技術支援科」「メディカル技術支援科」「ローカルプロダクト科」）および「オープンイノベーション推進室」、「計量検定室」の新体制となります（当センターにあった創業・経営支援等に関する部門は4月から本庁の「経営支援課」に統合）。

さて、課題解決に向けたキーワードは3つの“シン”だと考えています。

ひとつめのシンは親しむの「親」です。当センターでは研究開発や技術相談（年間3,500件ほど頂いています）、依頼試験・分析、設備利用や人材育成などを通じて、みなさまの技術的課題解決への支援に取り組んでおります。親しみをもってご気軽にお声がけください。

2つめのシンは革新の「新」です。今まで当センターでは、奈良県独自の酵母を利用した酒類の開発や太陽電池の性能を高めるための素材の開発、生産性を向上させるためのシステムプロトタイプなど先導的な新しい研究を進めてまいりました。

引き続き、幅広く皆さまからの相談について、解決すべく努力をしております。

また、当センターには試験分析機器もございますので、今までご利用のない方でも新しい商品改良等に役立てて頂ければと思います。

3つめのシンは、推進の「進」です。

当センター内には今年度4月、「オープンイノベーション推進室」を設置いたしました。設置の背景としては、新しい技術やアイデアをうみだすこと、今あるものを今までになかった方法で結び付けること等のイノベーションが必要となる中、自社や関連会社内の取組だけではなく、それぞれ得意な分野を持つ他企業や大学、研究機関などと連携することが重要になってきたことにあります。これまでの連携は、主に当センター研究員の人脉を通じたものに頼っていたものでしたが、もっと大規模に組織的に推進していくためにも、大学などのコーディネーター等も含めて活用してまいります。

また、連携の対象として県内には当センター以外にも農業研究開発センターを始め、薬事研究センターなど6つの公設試（公設試験研究機関）がありますので、引き続きそれらと連携する事が可能です。

さらに、今年度から奈良県が関西広域連合に全面加入したことで連携のメリットが生まれました。

それは「関西広域産業共創プラットフォーム」という、関西広域連合域内の公設試と多様な機関が連携し、シームレスに企業を支援する制度に当センターも参加し、みなさまに利用していただけるようになったことです。このプラットフォームでは技術相談に加え、事業化・製品化にあたっての経営面まで幅広い相談ができますので、新しいアプローチを進める際には積極的にご活用ください。（ちなみに他府県にある関西広域連合域内の各公設試での試験分析機器利用料も広域連合割引が適用になっているようです）

みなさまにおかれましては、当センターの活用並びに、今後とも、県内産業の持続的な発展および本県経済の活性化に向け、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

第34回 改善事例発表会

モノづくり委員会主催 (R6. 5. 21)

QCサークル活動を中心とした小集団活動に止まらず、現場力の向上に向けた業務改善、職場改善等の取組みの中から、特に成果のあげられた事例発表を通して、改善活動の大切さを共に考える場として「改善事例発表会」を開催致しました。

第1部の事例発表では、会員企業3社からご発表を頂き、QCサークル近畿支部大阪・近畿南地区顧問の北野邦弘様に講評を頂きました。

【第1部：事例発表】発表順に概要を紹介します。

1. GMB(株) シェルベアリング生産グループ ガチャポン

テーマ：『ハーモニーを皆で協奏し、
在庫有効活用に挑戦！』

(概要) 頻繁に出ない不動態在庫を基に新たな製品を生産し、不動態在庫を削減すると共に、資材置場スペースの確保に成功した事例。

自動車のステアリングジョイント部品の不動態在庫が資材置場を圧迫しており、安全面や作業面でも問題となっていた。

在庫が多いサイズを見える化し、その部品を活用できるように、プレス調整した周りの部品を新たに製造することで、製品として生産する改善を行った。

特に、プレスを微調整できるように製品・設備・季節要因による寸法変化量の把握に取り組み、成形パンチ等のラインナップを増やし寸法のコントロール性を向上させ調整時間の短縮も可能にした。

不動態在庫の有効活用により、資材置場のスペース確保を実現できたことで、他部門の作業性・安全面が向上し、プレス調整時間の短縮による生産性の向上にも成功した。



GMB(株)
岩井敬祐氏 吉本栄一氏

2. ゲイツ・ユニッタ・アジア(株)

七味唐辛子サークル

テーマ：『設備待機電力の節電』

(概要) 生産技術部の生産技術チームが担当している設備の待機電力を減らす事に成功した事例。

平日と休日の電気使用料を比べた結果、休日も電気使用量が多いことが判明し、休日待機電力を削減する為に、工場内の現状把握を行った。

タッチパネルの常時点灯を廃止すると共に、設備

のブレーカーが入っている状態の為、シャットダウンできていない設備については、なぜシャットダウンできていないのかを調べ直し、対策の立案をした。

シャットダウンスイッチが無い箇所には容易に消すことができるスイッチを増設すると共に、シャットダウン禁止の場合は、禁止理由や担当者を表示し、シャットダウンできる機械を明確化した。

さらに視覚的にわかり易いようMAP上でシャットダウンできていない工場設備が点滅するようにツールを開発し、一目でわかるように見える化を行い、電気使用量削減によるコストダウンに成功した。

3. (株)ジェイテクト 奈良工場 スクラッチサークル テーマ：『刃具再研内製化による 補助材料費削減』

(概要) ホーニング機を新たに開発し、段付きドリルの社外再研磨費用の削減に成功した事例。

社外に発注していたドリルの再研磨を自社で行うことを目的に、尖ったドリルの刃先を欠けにくくするホーニング処理を行う機械を開発する為に問題点の抽出と対策を行った。

色々な種類のドリルでもホーニング処理ができるように角度を調整する構造を考案すると共に、研磨ブラシの摩耗具合に関しても、ブラシの材質を変えて何度もトライ&エラーを実施し、位置を調整することでブラシの限界まで使用できるように各部分の調整機構も考案した。

これにより、手作業でのホーニング作業よりも完成度にバラツキも無く、刃先が欠けない品質での再研磨と作業効率の向上に成功し、社外への再研磨発注数のゼロ化に成功した。



ゲイツ・ユニッタ
・アジア(株)
古川翔太氏



(株)ジェイテクト
中田智浩氏



特別講演

『日本酒造り わざの伝承と革新』

株式会社神戸酒心館 醸造部長 宮本哲也氏

【第2部：特別講演】

(株)神戸酒心館 醸造部長の宮本哲也様から、『日本酒造り わざの伝承と革新』と題して、ご講演頂きました。

同社は、ノーベル賞の公式行事の提供酒「福寿」で有名な兵庫県灘五郷の酒蔵で、安定的な日本酒の製造に向け、IoTの活用、機械化・省人化に取り組み、経験に頼らなくても高品質に生産できる仕組みづくりを達成された現場改善の取組をご講話頂きました。



(株)神戸酒心館
醸造部長
宮本哲也氏

【講演要旨】

創業1751年で、1995年の阪神・淡路大震災で完全に蔵が崩壊。他の1社と会社を設立し、以前と同じ酒をつくるべく、原理は昔の方法で、今まで通りの酒造りを97年に再開した。

酒造りは、醸造を季節労働者である蔵人・杜氏が担い、製造は地元で採用した者で作っていた。

日本酒は1973年がピークで、以降右肩下がり年々日本酒を飲む人が減ってきた。酒蔵も4000社あったのが1200社まで減り、酒類全体にしめる日本酒の割合も30%から5%まで下がった。

日本酒の生産量は、大手の約1%（10社ほど）が約55%を、大手・中堅の約6%が約78%を占め、残り94%の中小企業が約22%を作る状況である。

そのため中小企業は設備維持が難しく、人手不足や技術継承の停滞で作業効率が悪く、また、改善への苦手意識もあり、職人頼みで改革が進まなかった。

日本酒造りは労働集約型で、中小も大手も全て工程は同じで、中小では生産量が少ないことから機械化より人の方が良いと思われていたが、機械化による酒造りの工程の改善に取り組んだ。

具体的には、米洗いの改善として、人手で大量の水を使って洗っていたが、バブル洗いを取り入れることで水量も少なく、時間も4分の1に短縮できた。



また、米の運搬・原料投入・冷ます工程は、手作業で行っていたが、圧送と冷却装置を入れて、衛生的にも良く、機器を調整するマニュアルを作成して管理を行って運用している。

更に、酒造りの重要な麹づくりでも、手で広げて混ぜるのが基本だが、室温が40度と暑く、手間がかかるつらい作業であったが、米に菌を均一に付ければ良いため、薄く広げて区画を決め、道具を自作してひっくり返すやり方を考案し、公施設で均一になっていることを確認してもらい改善した。

麹づくりでは、夜間の検温と作業をなくすために遠隔操作・監視を行い、予知しながら出来上がりを検証し、データ管理を行っている。

酒をしぼる工程も、味が変わると従前は人手でやっていたが、ポンプで米をつぶさず運ぶようにし、官能試験でも味が変わらないことが分かったので機械化を導入した。

改善においては、IoTを活用し温度管理や遠隔管理・タイマー制御により夜間作業を削減し、冷風装置やバブル洗米等により時間を短縮し、機器の導入で省人化を進め、新酒造システムでシフト制勤務を導入し、労働日の大幅削減を達成できた。

これまでの酒造りは、封建的な師弟関係が中心で仕事を教える雰囲気も少なく、師匠に従って技術を盗んで、得意技で生き残る雰囲気だった。

勘と経験に頼る酒造りから、原理・理論、データをもとに、今までのやり方を論理的に検証していった。手法や作業方法を見直し、作業基準・技術基準を明確に定め、IT活用によりデータの記録・共有・見える化を通して、休日を増やして働きやすい職場環境を作りながら、経験に頼らなくてもよい酒造り・再現性ある酒造りを達成することができた。

日本酒を取り巻く課題を1つずつ解決してきたことで、夜間・宿直作業の廃止や8時間労働での酒造りが可能となり、これからも喜んでいただける日本酒を継続して作っていききたい。



係長・主任者研修

人材育成委員会主催 (R6. 5. 15)

チームとして成果を出していく上で、現場実務の中心である係長職・主任職の役割は大変重要です。自身の役割を再確認すると共に、実践力を高めながら、チームにおけるリーダーシップを発揮するべく「係長・主任研修」を開催致しました。

講師は、当会の管理者・リーダーの人材育成や人事管理・採用活動の支援でご指導を頂いている、SAP 代表 松本 治 様にお願ひしました。

現場のリーダーとして、何を期待されているかを理解し、役割遂行のための強みと課題を整理し、一貫性をもって取り組むため、チームが目指す方向を明確にし、常に全体とどう繋がっているかを考えながら業務を進めていく大切さを考えました。

また、チームで成果をあげるため、達成すべき目標を共有しながら、メンバー間の信頼関係を構築し、各メンバーが果たすべき役割を明確にして達成意欲を高め、チームとしての意識を高めるプロセスや留意点について具体例を挙げてご指導を頂きました。

指導する上で、必要なコミュニケーションのあり方や、モチベーションの基本や関係を整理しながら、会社を辞めないようにモチベーションを高める方法と共に、指導での誤解のリスクに注意し、日頃から後向きの言葉を使わないようにして、前向きさを引き出す対話スキルを詳しく学びました。

実際の指導においては、相手に対して何をインプットするのかを明確にして説明・確認しながら、求めるアウトプットを引き出す質問を活用することで、効果を上げる方法をご解説頂きました。

チームとして成果を上げるため、コミュニケーションを深め、モチベーションを高めていく指導のあり方について、今後とも取り組んで参ります。



SAP
代表
松本 治 氏

環境 ISO 内部監査員養成講座

人材育成委員会主催 (R6. 5. 22-23)

環境 ISO の規格で求められる内部監査に関して、教育訓練の一環として、内部監査員の力量の担保や向上と共に、ISO に関係する社員・責任者の認識を補完しあう、内部監査員の養成を目的に、恒例の環境 ISO 内部監査員養成講座を 2 日間コースで開催しました。

講師には、審査機関で審査員として活躍されると共に、企業の認証取得コンサルタントとしても活動されている、伊田 ISO 事務所 代表 伊田嘉昌様にお願ひし、ご自身の経験を踏まえて、「監査する側」と「監査される側」の双方の視点から熱心にご指導を頂きました。

研修では、規格の要求事項の解説と共に、マネジメントシステムとして経営に寄与できるように、効果を上げるために内部監査の重要性など、具体的な事例を含めて学びました。

また、演習では、監査におけるチェックシート作成や現場監査事例からの不適合抽出、監査後の是正処置報告書の作成など、実際に行う内部監査の手順に沿って、内部監査の計画作成から監査結果報告までの一連の流れを、より実践的な内容で実施しました。

個人演習として、法令・規制要求事項に関する問題や監査で起きた事例から、監査チームリーダーとして、必要な対応を考えるなど、監査における重点項目の再確認を行いました。

最後に修了試験を行い、合格者には協会認定の修了証を発行しました。公的効力はありませんが、社内で内部監査員を任命するときの資格根拠としてご利用頂くことが出来ます。

今後も、ISO 認証取得・維持活動の多角的な支援と共に、より効果的な内部監査に向けて実践的に取り組んで参りたいと思います。



伊田 ISO 事務所
代表
伊田嘉昌氏



Kinden

チーム、きんでん。

(施工力+技術力+現場力)×情熱

“お客さま満足”という目標に向かって、さまざまなスタッフが力を結集。
人間力を基盤とした総合エンジニアリング力で、
あらゆるソリューションにお応えします。



エネルギー + 環境 + 情報

本店 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 東京本社 東京都千代田区九段南2丁目1番21号
TEL.06-6375-6000 TEL.03-5210-7272
<https://www.kinden.co.jp/>

きんでん

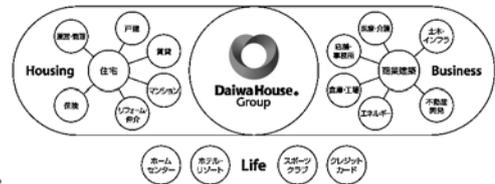
共に創る。共に生きる。



Daiwa House
大和ハウスグループ

大和ハウスグループは、
グループシンボル「エンドレスハート」に
お客様と私たちの永遠の絆と
私たちグループの連帯感を託しました。
人・街・暮らしの価値共創グループとして、
私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

人・街・暮らしの価値共創グループ



大和ハウス工業株式会社
www.daiwahouse.co.jp

「木」をみつめたテクノロジー

大手住宅メーカー向け内装建具・インテリア製造販売



本社工場 〒635-0017 奈良県大和高田市東雲町13番4号 TEL 0745-52-6671
都祁工場 〒632-0245 奈良県奈良市蘭生町1139番1 TEL 0743-82-0601

<http://www.e-toma.com/>

製薬会社が考えたスキンケア化粧品 MEDIMERRY®

肌の水分を守る
潤いヴェール



高保湿 AQMOISTURISER
アクモイスタライザー

お肌を整えて
うるはだ
「潤肌」へ

高保湿

さっぱり化粧水がしっとり肌へ導く!

AQFAIR
アクフェア



佐藤薬品工業株式会社

〒634-8567 奈良県橿原市観音寺町9-2
TEL.0744-28-0021 (FAX.0744-28-0030)

佐藤薬品工業



人事労務担当者セミナー

人材育成委員会主催 (R6. 6. 11)



児玉総合労務研究所
所長
児玉恭教氏

人事・労務に関する正しい知識を習得し、業務効率・労務管理の向上に役立てることを目的に、恒例の「人事・労務担当者セミナー」を開催しました。

今年度も、新しく人事・労務の担当者になられた方や改めて人事労務の基礎を学びたい方を対象として、労務管理の基礎と実務のポイントを学ぶことを目的に全4回シリーズで開催します。

講師は、社会保険労務士で労働基準監督署の指導員などをご経験されている、児玉総合労務研究所 所長 児玉恭教 様にお願ひしました。

実際の事務手続き方法の解説と共に、普段何気なく行なっている業務の意味や内容を改めて理解して、人事・労務に関する業務の底上げにつなげることをねらいとしています。

スタートとなる第1回目は、労働保険（雇用・労災）の提出書類の作成や社会保険（健康・厚生年金）に必要な算定基礎届の計算・記入方法など、この時期に求められる実務に役立てられる内容で実施しました。

それぞれの制度の概要と共に、資格の取得から喪失までの手続きや、各種保険の支給手続きなど、一連の流れに沿って、具体的にわかり易くご説明頂きました。

法律の意味・内容や改正点などを理解すると共に、企業現場での実務の事例を交えながら、業務として必ずしなければいけないポイントと、してはいけないポイントについて詳しくご指導頂きました。

次回以降は、「労働時間管理の実務」、「労働法規の要点」、「賃金等に関する実務」のテーマで開催すると共に、各会社の問題解決に繋がるよう、講義終了後に個別の質疑応答も実施いたします。



効果的なOJT指導法

人材育成委員会主催 (R6. 6. 12)



SAP
代表
松本 治 氏

当会では、会員企業の生産性向上に向けて、(独法) 高齢・障害・求職者雇用支援機構【ポリテクセンター】様から委託を受け、『生産性向上支援訓練』の一環として、指導にあたる上司・先輩の指導力向上を図るため、「効果的なOJT指導法」を開催致しました。

講師は、当会の管理者・リーダーの人材育成や人事管理・採用活動の支援でご指導を頂いているSAP 代表 松本 治 様にお願ひしました。

若年者の「就職感」「就業感」や意識の変化に対応し、これまでのOJTによる育成・指導のあり方を今一度見直すことは大切で、育成課題を整理し、仕事の目的や意味をわかりやすく説明し、やる気を引き出す指導が求められます。

実際の育成の場において必要となる育成の計画や指導の方法、指導者とのコミュニケーションの在り方、育成における評価の考え方等について、OJTによる指導の進め方とポイントを解説頂きました。

また、成長していく土台作りとしての人材育成について、OJT計画作成のポイントと指導者としてのコミュニケーションの在り方を考えました。

演習を通して、長期的な視点での指導計画作成の重要性を学ぶと共に、部下に仕事を「任せて“見る”」ことと「任せ“きる”」の違いを理解した育成指導法をご解説頂きました。また、指導する際の留意点と共に、指導された内容を確認・自身で考えさせる質問が大事であることを学びました。

育成の結果をしっかりとフィードバックを行うことで、コミュニケーションを活性化させながら、モチベーションを高めていくべく、今後も継続してOJT指導に取り組んで参ります。



奈良の観光情報まとめサイト

NARABURA







共同精版印刷株式会社 奈良びら事業部 TEL.0742-33-1221 (担当:小野) 奈良びら



包むを軸として、新しい価値を
愛と夢をもって創造する会社




<http://takagi-hoso.com> 社取ができました



2024年
30周年まで
69th
ANNIVERSARY

株式会社 高木包装 〒639-2122 奈良県葛城市はじかみ74番地2
TEL 0745-65-1133 FAX 0745-63-1111

株式会社 ハツウタガキ 東京オフィス
〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-40ok神田鍛冶町7F
TEL 03-4550-6765 FAX 03-6860-8540



動画サービス

企画から撮影・編集まで
ワンストップで制作。



あはたの
デザイン
あはたの
グッズ

あなただけのオリジナルグッズを
作ってみませんか?

総合印刷・デジタルコンテンツ・イベント・ノベルティ

創業明治7年 お客様の課題解決パートナー

株式会社 **明新社**
www.meishin.co.jp

〒630-8141 奈良市南京終町3丁目464番地
TEL 0742-63-0661 (代表)
FAX 0742-63-0660

＜わしくは＞

NOMURA WEALTH MANAGEMENT

変化を読み、
あなたの未来を共に創る。

野村証券株式会社 奈良支店
〒630-8227 奈良市林小路町45
電話 (代表) 0742(22)0351



キャップ & ボトルの総合メーカー



三笠産業株式会社
MIKASA INDUSTRY CO., LTD.

〒635-0817 奈良県北葛城郡広陵町寺戸27番地
TEL.0745-56-5581 (代) FAX.0745-57-1565
<http://www.mikasa-ind.co.jp/>



関西電力 power with heart



電化

化石燃料機器から
CO2排出量の少ない
電気機器に
置き換える

省エネ

省エネ機器の導入、
最適制御により
エネルギー消費量を減らす

**創エネ
(蓄エネ)**

使用する
電気を
自ら創る
メニューに置き換える

関西電力グループが
お客さまや社会の皆さまと
ともに取り組むこと

オフセット

CO2フリーの
電気料金
メニューに置き換える

令和6年春の叙勲・褒章受章おめでとうございます！

春の叙勲、『旭日単光章』株式会社イムラ 代表取締役社長 井村義嗣様
褒章、『藍綬褒章』株式会社明新社 代表取締役社長 乾 昌弘様
お二人が受章されました。会員ともども、お祝い申し上げます。



【旭日単光章】

株式会社イムラ
代表取締役社長
井村義嗣氏



【藍綬褒章】

株式会社明新社
代表取締役社長
乾 昌弘氏

職場改善活動研修会（基礎）

人材育成委員会主催 (R6. 6. 18)

現場力を高める手段として、職場改善活動（サークル活動等）は大変有効且つ重要です。

職場改善活動を進める上で、基本となる考え方や具体的な活動の進め方、基礎的なQC手法について学ぶべく、「職場改善活動研修会（基礎編）」を開催致しました。

講師には、改善事例発表会でご指導いただいておりますQCサークル近畿支部大阪・近畿南地区顧問の北野邦弘氏にお願いしました。

研修内容は、品質管理の基本的な考え方と共に、①QC的なモノの見方・考え方、②小集団による職場改善を進める上での勘所、③具体的な職場改善活動への取り組み方、④問題解決と課題達成の手順、⑤改善活動によるQC手法やデータの取り方など、事例を交えて説明いただきました。

演習では、課題の要因毎にデータを大きい順に並べて優先順位を見つけ出す「パレート図」や、課題に対して人や機械等の視点から要因を分析し



QCサークル近畿支部
顧問
北野邦弘氏

体系的にまとめる「特性要因図」の作成・活用方法を学びました。

また、昔懐かしい「だるま落とし」を成功させることを目的としたユニークなグループ演習も実施しました。

だるま落としがうまくいかない要因を、「人・方法・材料・環境」の観点から、グループで意見を出し合いながら特性要因図を作って検討し、その対策の立案・実施、効果の確認など、現場の問題解決になぞられた一連の流れを実践的に学び、問題を解決していくプロセスを体験しました。

演習を通じ、実際の現場での課題解決の流れを体験しながら、手法の意味と活用方法を理解することができ、大変有意義な時間となりました。



就職問題連絡会

人材育成委員会主催 (R6. 6. 20)



奈良労働局
職業安定部訓練課長
木内 茂 氏

就職問題連絡会は、来春の高校卒業者の就職に関して、奈良県高等学校等進路指導研究協議会（高進協）の先生方と企業の経営者・人事担当者が一堂に会し、より良い求人求職環境の構築を目指し、毎年意見交換を行っております。

基調報告として奈良県労働局職業安定部 訓練課長 木内 茂様から、「高校新卒者の来春の求人・求職状況」について次の通りご解説を頂きました。

「令和6年3月の内定率は99.0%で、前年同月比0.4ポイントの増加である。求人数は3.7%減、求職者数は8.1%減である。求職者が減ったため内定者数も減っている状況である。離職率はやや上昇しており、人数の少ない事業所での離職率が高い傾向にある。」とご説明いただきました。

次に事務局より、来春新卒者の採用計画及び就職希望者アンケート調査について、採用予定は72.8%となっており、就職希望者の65.2%が県内企業を希望していると報告。

また、高進協就職指導委員長 吉村典久先生から、「就職に関する高校生の意識調査の報告では、就職内定者調査において、生徒の90.8%が職場見学に参加し、内56.9%が大いに参考になったと答えている。志望先を選ぶ上で、休日や福利厚生をより重要視するようになってきている。」とお話頂きました。

意見交換では、企業からは「インターンシップの日程や内容はどうしたらよいか」との質問に、学校からは「インターンシップは、1日ではなく継続した日程でお願いしたい。また、社会人として当たり前のことを教えて頂きたい」等々、活発な意見交換が行われました。

名刺交換会では、企業・先生方が個々に採用・求職についてより深く意見交換を行いました。



事務局たより

社名変更等

☆新弘商会



合同会社新弘商会

☆株式会社マイステイズ・ホテル・マネジメント
(奈良ロイヤルホテル)

代表取締役社長 代田量一



株式会社奈良ロイヤルホテル

代表取締役社長 山本俊祐

住所変更等

☆株式会社アーバン工房

〒550-0005 大阪市西区西本町2丁目1-41
インテリンクス西本町401号

TEL : 06-6110-0288 FAX : 06-6110-0380



〒564-0044 吹田市南金田2丁目12番35号
TEL : 06-6170-9011 FAX : 06-6170-9033

☆株式会社垣内商会

〒630-8122 奈良市三条本町9-1

三条通ガーデンハイツ1F



〒630-8115 奈良市大宮町6丁目7-6

Word (ワード) 基礎講座

Word (ワード) の基本操作、文章の作成・編集等の便利な機能の活用方法を学び、業務の効率化・生産性を高めるべく開催致します。

記

日時：令和6年7月26日(金)

9:30～16:30

場所：奈良県産業振興総合センター2F
(奈良市柏木町129-1)

参加費：3,300円 / お一人様

税抜3,000円 消費税300円)

申込：事務局までご連絡ください。

新入会員様ご紹介

株式会社ケージーエム

正会員

【概要】

設立：平成8年1月

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役

木村隼朋

所在地：〒630-8044

奈良市六条西 6-13-27

TEL・FAX:0742-41-8671

従業員数：8名（全社）

U R L : <https://kgm-osaka.co.jp/>

事業内容：工場自動化システムの製造販売

弊社は奈良・大阪を拠点に全国の生産工場へ、生産・安全監視の自動化システムを設計・製造・販売しています。

創業以来、鉄道会社様に多くの設備を納入して参りました。近年では、駅ホームで人の転落を自動検知し、電車を止めるシステムを導入頂いております。多様なニーズに応える最適なソリューションを提供しております。



株式会社葛城自動車

正会員

【概要】

設立：1950年

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役

安田美恵子

所在地：〒639-0225

香芝市瓦口 2032

TEL:0745-76-0551 FAX:0745-77-3621

U R L : <https://kazragi.com>

従業員数：22名

事業内容：自動車販売整備

マツダを中心とした車両販売、車検点検等のメンテナンス、钣金塗装、万が一の備えの損害保険といざという時の事故対応などお客様のカーライフをフルサポート致します。

技術や知識のご提供だけではなく、車という側面からお客様に夢やワクワクをお届けできる対応のできる店舗づくり人づくりを目指しております。

いよいよ来年は創業75周年です！



株式会社ナノテック

正会員

【概要】

創立：1989年6月12日

資本金：1,000万円

代表者：代表取締役

森井健補

所在地：〒631-0831

奈良市西大寺宝ヶ丘 6 番 6 号

TEL:0742-46-4961 FAX:0742-46-5743

U R L : <http://www.nano-tech.co.jp>

従業員数：10名

事業内容：各種設計・製作・販売、精密エアージャック・高濃度ナノバブルの製作を主力としております。

製品説明：①エアージャックの代表は、ダイヤフラム・ジャック、繰り返し精度 $2\mu\text{m}\sim 3\mu\text{m}$ 交換可能、芯出しの必要なし。②高濃度ナノバブル(Nano Espuma)は、30nm \sim 20nm径以下の直径を持つバブルを発生させ時間経過後のバブル直径も、分布濃度のも継続可能とした。効果としては、洗浄能力効向上、菌繁殖減菌効果、生物育成向上、熱伝導率向上(切削加工の刃物寿命、精度向上)、その他(トイレ洗浄、医療分野、美容効果等)。



有限会社ワケンシステム

正会員

【概要】

設立：平成15年3月

資本金：700万円

代表者：代表取締役

有川泰裕

所在地：〒632-0071

天理市田井庄町 322

TEL:0743-63-0715 FAX:0743-63-0716

従業員数：2名

事業内容：総合建設業・リフォーム工事

弊社は、一般住宅・店舗・会社・医療施設などのリフォーム工事やリノベーション工事を主に承っております。

担当の建築士がご提案御見積、施工管理、竣工御引渡しまで一貫して担当させていただきますので責任を持ち、誠実な施工を心掛け、創業20年を迎えることができました。

小さな会社で出来ることに限りはございますがどうぞよろしくお願い致します。

各 種 変 更

【代 表 者 変 更】

会社名	変更前	変更後
株式会社黒川本家	代表取締役 黒川重之	代表取締役 黒川伸一
ザ・パック株式会社 奈良工場	工場長 荒川雅彦	工場長代理 豊田司朗
三晃精機株式会社	代表取締役 笹岡元信	代表取締役 平子晴庸
セキスイハイム工業株式会社 近畿事業所	事業所長 青木勝夫	事業所長 高嶋正人
損害保険ジャパン株式会社	取締役社長 白川儀一	代表取締役社長 石川耕治
大和化学工業株式会社	代表取締役社長 東田誠次	代表取締役社長 平山正道
大和ハウスパーキング株式会社 大阪支店	支店長 中吉剛彦	支店長 杉田哲也
竹野株式会社 法隆寺工場	工場長 森 誠	工場長 高橋正大
東京海上日動火災保険株式会社	取締役社長 広瀬伸一	取締役社長 城田宏明
東洋精密工業株式会社	代表取締役会長 石井 昌	代表取締役社長 佐野賢司
東和鋳工株式会社	代表取締役 川久保浩幸	代表取締役 矢野拓也
奈良県木材協同組合連合会	会長 谷奥忠嗣	会長 丸 敏幸
南都マネジメントサービス株式会社	代表取締役 萩原 徹	代表取締役 横谷和也
野村興産株式会社 ヤマト環境センター	センター長 三上保人	センター長 朝貝武弘
花太刀食品工業株式会社	代表取締役 長塚洋二郎	代表取締役 長塚洋昌
ヒラノ技研工業株式会社	取締役社長 安居宗則	取締役社長 森井紀雄

【役 職 変 更】

有限会社栄林建設	専務取締役 高田桂輔	代表取締役 高田桂輔
株式会社F G	代表取締役 横山 修	会長 横山 修
株式会社きんでん 奈良支店	執行役員 支店長 安田 守	常務執行役員 支店長 安田 守
テクノス株式会社	取締役 技術部 部長 細田俊弘	取締役 細田俊弘

奈良経済産業協会NEWS 第71号

令和6年7月発行
一般社団法人 奈良経済産業協会

〒630-8031 奈良市柏木町129-1 奈良県産業振興総合センター内
TEL(0742)36-7370 FAX(0742)36-7371
<http://www.nara-eia.or.jp> E-mail : info@nara-eia.or.jp